

# 町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1  
 電話：74-0212 FAX：74-0105  
 E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



1



2 3



4

## 第20回 公民館まつり 12/6~8

“輝け日野町 羽ばたけ未来へ”  
 たくさんの参加ありがとうございました

今年の公民館まつりは、20回目の開催と町制施行60周年が重なる記念イヤー。3日間で延べ385人の皆さんにお越しいただき、まつりそして黒坂のまちが大いに盛り上がりました。公民館交流事業で参加いただいた境港市上道・外江公民館、日野高校ボランティア、くろさか春夏秋冬セミナーの学生など、たくさんの皆さんのご協力もありました。ありがとうございました。



5 6



1) 陶芸教室で真剣に作品づくり。どんな作品に仕上がるのかな？ 2) 日野高校生徒が施すハンドケア。来場者の手を優しくスベスベに 3) 境港市の上道・外江公民館の皆さんは鮮度抜群の海産物を即売。飛ぶように売れていました 4) まつりのオープニングを飾ったのは、黒坂小学校1・2年生による傘踊り。一生懸命踊る姿に会場から大きな拍手が送られていました 5) 町公民館の各種教室や住民グループの皆さんの力作がずらり。来場者の目を楽しませていました 6) 駐車場ではテント村が開かれ、とれたて野菜やシイタケ、五平餅などを販売。多くの人でにぎわいました



# 「まち・ひと・たから」地域協働のまちづくり

## ▼生涯学習まちづくり大会

12月8日、町公民館で、生涯学習まちづくり大会を開きました。

この大会は、毎年、学習活動の成果を発表し情報交換を行うことで、生涯学習の推進や参加意欲の向上、地域づくりへの参画などを図ることを目的としています。

はじめに、日野町青少年育成会が、「家庭の日」作品として、「家族」をテーマに募集した絵画や作文、写真の中から入賞者を部門ごとに表彰。

はじめに、日野町青少属する高校生が、今年度取り組んだ2つのプロジェクトを発表。はじめのプロジェクトは、eスポーツ部による「eスポーツを楽しむもう！e

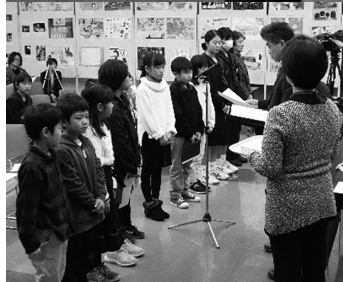
作文の最優秀賞受賞者は作文を朗読し、家族に思いをはせるひとときとなりました。

スポーツ×まちづくり」世界で盛り上がりを見せるeスポーツの概要や、11月に金持テラスひので開催したイベントなどの活動を紹介しました。

次に登場したのは、「カレー王国にのっカレープロジェクト」。カレー制作までの経緯や「カレーで地域を盛り上げる」とテーマに取り組んだ成果などを発表しました。

最後に、鳥取大学医学部地域医療学講座「くろさか春夏秋冬セミナー」の学生の皆さん。毎年、黒坂地区で行っている活動を振り返り、地域協働のまちづくりに向けた提言からミニ健康講座まで、来場者を巻き込んだ実践発表を行い会場を盛り上げました。

どの活動も地域や人と人とのつながりを大切にしたいものばかり。地域全体でまちづくりに取り組んでいく気運を高める機会となったようです。



▲JK課に所属する松本さん(右)と高橋さんはともに黒坂在住。お世話になった地域の人への感謝の言葉も「家庭の日」作品表彰式。心あたたまる作品が並びました

# 来年も良い一年になるようお願い込め

## ▼しめ縄づくり教室



▲日本の伝統、文化にふれる機会に

12月21日、しめ縄づくり教室を開きました。当日は、子どもから大人まで27人が、正月用のしめ縄づくりに挑戦しました。

普段、なかなか縄をなう機会などないもの。参加者は、地域から招いた3人の講師にわたりの扱い方や縄の結び方について教わりながら、丁寧に仕上げていきました。

講師の手際よい作業を手本にしながら、さまざまな形、大きさのしめ縄が完成。みんな満足そうな表情を浮かべていました。終了後には、久代宏一さんがなめこ汁を振る舞い、参加者の心も体も温めていました

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第78回

### 「こぼかり」とは？

～地域に残る風習・行事～

皆さんは「こぼかり」と聞いて、どういった場面を想像するでしょうか？

「子ばかり」「粉量り」「古馬乗り」「木端刈り」「木場刈り」「小馬鹿り？」などなど、

いろいろなパターンが考えられると思いますが、この「こぼかり」、実は日野町舟場の地域行事の名前なのです。

舟場で行われる「こぼかり」とは、毎年1月の第3日曜日に地区役員・住民が集まって「自治会費などを集金する日」のことです。

え？これがなんで「こぼかり」なの？と疑問に思う方もあるでしょう。とって、いろいろと調べてみたのですが……わかりませんでした！

これは筆者の個人的な考えですが、「小諮り」と字を充てるのが正しいのではないのでしょうか。かつて年の初めに村人が集まって、いろいろな決め事を「諮って」いた名残りなのかもしれません。

皆さんの地域でも、こうした珍しい呼び名の風習などが残っていませんか？

協力：日野町歴史民俗資料館友の会